

# 「湛水管理」と「落水管理」を数日おきに繰り返しましょう！

田植後は暖かい日が多く、日照時間も多かったことから、生育は順調です。新潟地方气象台によると、新潟県を含む北陸地方は、6月20日ごろに梅雨入りしたと見られています。これからは雨や曇りの日が多くなる時期になりますので、これまで固めてきた田んぼが再び柔らかくならないよう、水が溜まり続けないよう注意してください。

また、秋まで溝を良い状態で保つためには、数日おきに田んぼを適度に干すことが大切です。湛水管理と落水管理を数日おきに繰り返す管理を心がけてください。

## 1 6月30日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点ほ場12地点平均、移植日平均5/10)

●草丈「並」、茎数「やや多」、葉数「やや多」、葉色「薄い」

区分	今年値	目標値
草丈	51 cm	49 cm
茎数	534 本/m <sup>2</sup> (33 本/株)	500 本/m <sup>2</sup>
葉数	10.4 枚	10.0 枚
葉色 (SPAD)	36.5	39.0

## 2 コシヒカリの管理ポイント

- (1) 葉色が極端に淡くなっているほ場では、夏に備えてリン酸や加里を含むケイ酸資材を施用しましょう。
- (2) 1か月予報 (2026年6月25日発表) によると、今後1カ月の気温は平年より高めで推移し、平年と同様に曇りや雨の日が多くなる見込みです。このため、稲の生育は順調に進むと予想されます。
- (3) 水を溜め続けると、田んぼが再び柔らかくなってしまいます。このため、中干し後は、数日おきに「水を溜める→数日干す」という管理を繰り返してください。
- (4) 畦畔雑草の一斉草刈推進期間は、2回目が7月14日 (火) から26日 (日) です。期間内の実施をお願いします。

【用水は限りある資源です。地域で話し合い、公平に使用しましょう！】

次回の発行は、7月10日頃を予定しています。